

病害虫防除技術情報第18号

令和6年3月19日
三重県病害虫防除所

本年はムギ類の開花が早くなる予想です。ムギ類赤かび病の防除は適期を逃さず、開花始めから開花盛期に行いましょう！

1 対象作物： ムギ類

2 対象病害虫名： ムギ類赤かび病

3 生育状況と今後の予測

(1) 本年のムギ類の生育は、昨年秋から気温が高く推移したため、3月中旬時点で平年より1～2週間早くなっています。

(2) 伊勢平坦部の11月上旬播種「あやひかり」の出穂は3月末から、また、伊賀地域の11月中旬播種「タマイズミR」の出穂は4月中旬から始まると予想されます。

4 防除対策

(1) 防除回数は2回以上の複数回を基本とします。

(2) 一回目の防除適期は開花始めから開花盛期で、二回目の防除は一回目の7～10日後に行います。

(3) 開花始めは通常、出穂の7～10日後ですが気温によって前後します。

(4) 開花前、あるいは開花後の薬剤散布では防除効果が劣ります。圃場をよく観察して、適期に防除を行ってください。

(5) 薬剤耐性菌の発生を防ぐため、同一系統の薬剤は年1回の使用としましょう。

(6) 薬剤は三重県農薬情報システム

(<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/mie>)で検索することができます。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。